



物流面での取り組み

輸送ルートや、梱包・包装方法などを改善し、効率的な物流を実行しています。

輸送工程のCO₂排出量低減、梱包・包装資材使用量低減を柱に取り組みを実施しています。特にCO₂削減については、'06年の省エネ法の改正に伴い、年平均1%以上の削減を目標として改善活動を進めています。

中期目標

輸送行程のCO₂排出量
2010年度末07年度比

3%減

梱包・包装資材使用量
2010年度末07年度比

6%減

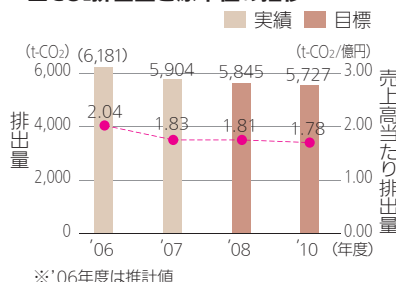
輸送工程のCO₂排出量低減活動

2007年度はデジタルタコメーター装着によるエコドライブの徹底を進めました。2008年度はバイオディーゼルの導入やエコタイヤの導入など更なる低減活動を推進していきます。

2007年度の実績修正と目標策定の基準年変更について

2008年8月に物流委託先の監査を実施したところ、一部のデータに不備があることが判明し、2007年度の実績値を修正しました。そのため、目標値はあらたに2007年を基準年として再設定しています。(低減目標は従来通り年率1%減) 今後はデータ精度向上のため、物流委託会社との連携を強化し活動を進めていきます。

CO₂排出量と原単位の推移



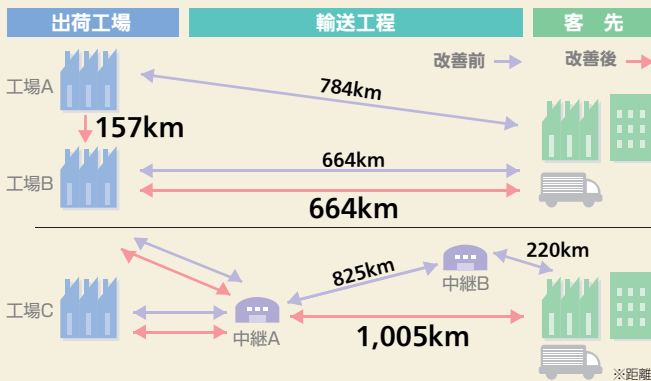
輸送距離の短縮とエコタイヤ導入による効率化

関東方面のカーメーカーへの納入について、出発地にて荷物の混載、中継拠点の削減などにより走行距離を短縮することで、CO₂排出量を削減しました。

また遠隔地輸送を担うトラック輸送便には、一部車両にエコタイヤ*を導入し、燃費向上を図っています。これにより年間18.6tのCO₂排出量を削減することができました。

*エコタイヤ
「転がり抵抗」が小さく燃費向上効果のあるタイヤ。

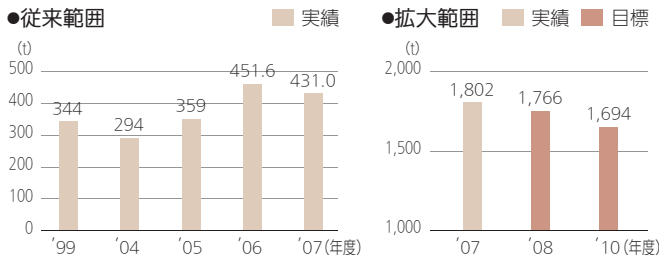
輸送距離の見直し



梱包・包装資材使用量の低減活動

包装資材使用量については、一部の製品についてのみ管理範囲として活動を進めてきましたが、2008年度よりすべての製品の包装材も管理対象として管理範囲を拡大し、改善活動を強化しています。

梱包・包装資材使用量



海外向け樹脂トレイのリユース・リサイクル

当社海外事業体への納入部品を収容する樹脂製トレイについて、従来は使用後に廃棄していましたが、1998年より再利用するようになりました。

2007年からは製品切替などで不要となったトレイについても、リサイクル業者にて他の工業用製品にリサイクルするようにし、包装資材のリユース化・リターナブル化を推進しています。

樹脂トレイの流れ

